

contents

つながり



湘南学園の将来像を展	展望して全学の協力を深める
心の交流	
保護者による学校評価	~メールシステムを活用して
メディアリテラシー	
未来の教室	
「キース先生、コレッ	ルト先生をお迎えして
人として十打たこと	

『将来像が描きにくい変化の大きな時代』

学校法人からのご報告

理事長	内海直人	02
学 園 長	山田明彦	03
幼稚園年中組担任	鈴木 恵	04
小学校総務主任	北村和美	06
小学校生活指導主任	山田涼子	07
中高情報科	小林勇輔	08
中高英語科主任	鈴木 純	10
PTA会長	近藤えり子	111
同窓会会長	筧 元則	111
		40



つながり

内

. 海直

〜新たなステージの始まり〜

終業式・卒業式の月を迎え、この年間の活動を通して子どもたちの年間の活動を通して子どもたちのことは、保護者・教職員・地域の皆様との共育の賜物と、心より感謝申との共育の賜物と、心より感謝申との共育の賜物と、心より感謝申し上げます。

うございます。
卒業生の皆さん、ご卒業おめでと

いう英語には、もうひとつ「始まり Commencement (コメンスメント) と 験したことが次のステージで大いに 皆さんが湘南学園で学んだこと、経 いることでしょう。しかし、これまで 待と不安の両方の気持ちを抱いて たなステージの始まりに大きな期 という意味があります。現在のステ としています。卒業という意味の 学高校の6年間を過ごし、これか 間、もしくは小学校の6年間、中 花開くことと私は確信しています。 始まりになります。今皆さんは新 ージからの卒業は、次のステージの ら新たなスタートラインに立とう た湘南の環境の中で幼稚園の3年 卒業生の皆さんは、この恵まれ

よう心から願っています。満ちた素晴らしいものとなりますこれからの皆さんの人生が、希望に

卒業生の保護者の皆様、ご卒業に、温かいご支援をお願いいたしまけます卒業生に、これまでと同様いります卒業生に、これまでと同様に、温かいご支援に感謝申し上げますとともに、援に感謝申し上げますとともに、活かいご支援をお願いいたしまけ。

未来の教室

前号で経済産業省の実証事業 前号で経済産業省の実証事業 が安全では通常の授業の学び方と に異なり、モノで作るだけでなく、 の教室では通常の授業の学び方と に異なり、モノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業で、3Dプリンター・レーザーカッター・ノートPC等の をベースにした授業の学び方と

> つくることで、この力を育んでいま その力を学校の中で育成するのは てより自主的に学ぶための環境を 教室では、生徒たちが自らつくりた 容易いものではありません。未来の いほど必要になる能力です。一方で、 が社会に出た際に、必ずと言ってい おかれています。この力は生徒たち ある」と感じてもらうことに重きが たちが主体的に「つくりたいものが 力」を育むことが重要であり、生徒 はなく、「アイデアをカタチにする 作機器の使い方を学ぶことが主で ます。ここではモデリング方法やT での一連のプロセスを模擬し学んでい 商品がアイデアからカタチになるま にするという、社会において実際に 3Dプリンターなどで実際にカタチ そのアイデアをPCでモデリングし、 創造的なアイデアの出し方を学び、 いものを考え、モチベーションを持つ

湘南学園創立88周年記念のつどい

間立記念日に、湘南学園創立85 間本記念のつどいが執り行われま にた。つどいでは、ご来賓の皆様・子 と湘南学園のこれまでの経過を振 と湘南学園のこれまでの経過を振 と湘南学園のこれまでの経過を振 と湘南学園のこれまでの経過を振 と湘南学園のこれまでの経過を振 と湘南学園のとれまでの経過を振

に考えることができました

湘南学園は、昭和8年4月に開 をし、当時集まったのは2、3人の児 増えず学校経営の面で厳しい時代 増えず学校経営の面で厳しい時代 増えず学校経営の面で厳しい時代 は、今もなお現在の湘南学 体となって学校を作り上げるとい たとなって学校を作り上げるとい 体となって学校を作り上げるとい 体となって学校を作り上げるとい 体となって学校をでり上げるとい 体となって学校をでり上げるとい 体となって学校をでり上げるとい 体となって学校をでり上げるとい が一本となって学校をでり上げるとい は、一本でいます。

創立85周年目の現在、子どもたちの数は幼小中高で約2,000人までになりました。過去も現在も身体健全、気品高く、社会の進歩に身体健全、気品高く、社会の進歩に身体健全、気品高く、社会の進歩に骨が・中学校・高等学校の15年間に学校・中学校・高等学校の15年間に存んである子どもたちそれぞれの発達やたる子どもたちそれぞれのステー段階に寄り添い、それぞれのステー段階に寄り添い、それぞれのステー段階に寄り添い、それぞれのステー

います。
お稚園では、子どもたち自身が、幼稚園では、子どもたち自身が、

ています。

子どもを育むことを大切にしていい触れ、問題を解決する力のあるの学校では、探求心を持って本物

す。 中高では、学びを繰り返し、社会 の進歩に貢献する明朗で実力ある

これらの教育を実践するため、

ご協力をお願い申し上げます。 もに「子どもたちの未来のため、湘 がり」を大切にしながら、皆様とと 園としてのつながり」「PとTのつな います。私たち理事会は改めて「過 像から創造になるものと確信して 変の理念として尊重しながらも、 参ります。引き続き法人運営への 年、100周年に向けて取り組んで Actionを生みだし、それは必ず想 力を合わせれば、その思いは新たな 園像を想像し、同じ方向に向かって れから5年後、15年後のなりたい学 いと考えています。まずは皆様でこ からの社会の変化に対応できるよう 90周年、100周年に向けて、これ もたちです。子どもたちのために湘 て、その中心にいるのはやはり子ど 様々な取り組みから湘南学園は総 んでいます。これら全パートに跨る 湘南学園では皆様がご存知の通り 南学園の未来のため」これから9月 去・現在・未来のつながり」「総合学 南学園が存在し、建学の精神を不 合学園として成り立つており、そし 未来の教室等、様々なことに取り組 ESD・グローバル教育・SDGs・食育・ 「皆様」と湘南学園を創って参りた



湘南学園の将来像を展望して全学の協力を深める

学園長 山田明彦

「創立85周年記念のつどい」

11月15日の創立記念日に、湘南学園カフェテリアにおいて「創立85周年記念のつどい」を開催しました。晴れ渡った秋空の一日、理事会や執行部等の教願員や保護者、「チーム湘南学職」や80周年以後の関係者、中高生徒会の総務委員など80数名が結集して下さいました。

特別メニューの彩りあふれるウンチや素敵な花々に囲まれ、ランチや素敵な花々に囲まれ、ため、まず学園に多大な貢献を重し、まず学園に多大な貢献を重し、まず学園に多大な貢献を重なの故佐藤允様の御冥福を祈って黙祷を行いました。そして内で黙祷を行いました。そして内で深めながら、建学の精神と総合学園の連携を大切に夢を持ってアクションを展開しようと挨拶されました。

更に深め、キャリア教育の充実しい変化に遅れないよう連携を筧同窓会会長から、時代の厳

題にも引きつけて提起をしてく

学園所在地の地域防災の課

れました。楽しいランチタイム

を始めとして新たな学園の発展に寄与していきたいとご挨拶がありました。出辺後援会会長から、結成10周年までの取り組みら、結成10周年までの取り組みら、結成10周年までの取り組みら、おフェテリアと学園をもした。小田湘南食育ラボ理事長から、カフェテリアと学園をあぐる様々な困難の軌跡にもふれられ、食育と憩いの場として広い視野から可能性を探っていきたいとご挨拶がありました。

若い世代の教員代表で、幼稚 の各先生から、教員としてのや の各先生から、教員としてのや のがい、教育実践の努力目標、 りがい、教育実践の努力目標、 りがい、教育実践の努力目標、 としての相互理解への期待が熱 としての相互理解への期待が熱 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高 く語られました。総務委員の高

> はテーブルを越えて歓談の輪が広がり、「ひまわりプロジェクト2018」の経過をお父様方がまとめた秀逸なスライドが上映されました。学園長から、ついでいの主旨達成に感謝し、総合学園としての一体感、卒業生の参画拡大による貢献、保護者と教職員のより深い協力関係を願ってご挨拶としました。最後に出席者全員で「学園歌」を斉唱して閉会となりました。 地度ながら「手づくり感満して閉会となりました。 がったとのお言葉を頂戴しました。

子どもを育てる」湘南学園「みんなで創り上げ、みんなで

会議を始動しています。

築され、後援会も発足されて旺 の、男女共学の総合学園です。 のが20年間にも様々な困難が この約20年間にも様々な困難が この約20年間にも様々な困難が この約20年間にも様々な困難が この約20年間にも様々な困難が この約20年間にも様々な困難が

> ルとともに切実なご家庭の要望 期待と支持を広げ、その預かり 舎で熱心な教育研究を進め、 定されました。小学校は建築コ 創設され、グローバル教育やキ 業されました。教育振興基金が 〇法人主体でカフェテリアが開 設され、食育の志を掲げるNP 80周年には音楽祭やホームカミ 盛な教育支援が推進されまし に応えてきました。 保育は小学校のアフタースクー た。幼稚園はきめ細かな保育が コスクールにも認定されまし ンクールで最優秀賞を得た新校 に加盟し、SGHの準拠校に認 した。中高はユネスコスクール ャリア教育への支援も進展しま 時開催され、8周年記念館が建 ングデイなど記念イベントが同 い活動を展開されました。創立 た。PTAは独自性に富む新

そして創立85周年の節目では、90周年~100周年を見する集会を実施し、記念事業を行る集会を実施し、記念事業を行る集会を実施し、記念事業を行る集会を実施し、記念事業を行るとにしました。未来の学園を担う若手教員や中高生代表のたこの先5年間の努力目標や特にこの先5年間の努力目標や特にこの先5年間の努力目標や者の希望と展望を共有できることが眼目でした。また各校の募係を全学アピールに寄与する85

も重点的に広げていきたいで す。そして同窓会のご協力を受 年春の満開を心待ちにしていま 周年記念の対外広報を行い、 事長の主導により学園将来像の 交流会など卒業生の参画は今後 願いしました。キャリア講座や については学内に特別募金もお とにしました。以上の必要経費 けて、幅広い世代の卒業生を中 り』をPTAサポーターズクラ 年花文字フラワーガーデン造 学協働事業の1つとして『85周 中長期計画、経営と学事の戦略 や懸案に追われながら、内海理 す。理事会では、数多くの議題 にまとめ、皆様にお届けするこ メッセージを寄せて頂いて冊子 心に学園教育と学園生へ向けて た。学園にお越しの際は「85 ブを中心に実施して頂きまし レインストーミングを行い、

発展をはかっていきます。 一般しい未来予測が様々な方面 を指摘される現代ですが、湘 をできる人間の育成を期し できる人間の育成を期し で、この歴史的節目も生かしな で、この歴史的節目も生かしな で、この歴史的節目も生かしな で、この歴史的節目も生かしな



心の交流

幼稚園年中組担任 鈴木

恵

駅横にある「片瀬しおさい荘(老 取り組みとして、湘南海岸公園 近年。今年度は年中組で新しい りが、年々少なくなってきている 流する日がありました。 たり、学園の小学校5年生と交 人介護デイサービス)」を訪問し 幅広い世代との関わりや繋が

片瀬しおさい荘(老人福祉施設)

の繋がりをもつことをねらいと いました。 世代間との交流を通して、心

紙でキノコやドングリを折って スで訪問しました。訪問するに くの?」と訪問を楽しみにして かし、気持ちを込めながら、折り ようにと、小さな手を一生懸命動 あたって、おじいさま・おばあさ く渡したいな。」「いつ渡しに行 プレゼントを用意しました。「早 まに秋を届けて喜んでもらえる して、2日間に分かれて各クラ

いの方々が利用されていらっし

と「きのこ」の歌を歌って、秋の歌 ばあさまより年齢が高い方が多 わいい歌に、おじいさま・おばあ を届けました。子どもたちのか くして驚く子もいました。 く、何歳か尋ねてみると「88歳. **゙すごく大きいんだね」と目を丸** 「85歳」と答えてくれました。 まず始めに「秋のバイオリン」 子どもたちのおじいさま・お

だき、微笑む子どもたち。 さまからたくさんの拍手をいた 次に、自分の背中に隠してい

生まれました。 気な声で手拍子をしながら一緒 らべ歌「お寺のおしょうさん」「あ 子どもたちが楽しんでいる、わ に歌ってくださり、|気に|体感が とおじいさま・おばあさまも元 たぬきさん」などを歌うと、自然 を届けました。そして、普段から ぞ」と言って渡し、もう1つの秋 たプレゼントの折り紙を「どう んたがたどこさ」「げんこつ山の

張していた子どもたち。

しおさい荘には、60~90代くら

と、どちらのクラスも非常に緊

訪問当日、しおさい荘に入る

なでてもらい嬉しそうに微笑お ぎゅっと抱きつく子、頭を優しく く手を包み込んでくれました。 手だね」「やわらかいね」と優し と優しく手を握る子どもたち。 を合わせてみると「あったかい」 まり、お膝に座らせてもらう子、)おさい荘の方々も「かわいい お互いの心の距離がぐっと縮 おじいさま・おばあさまと手



叩いていたことです。その姿か ら、初めて会ったおじいさま・お づかいながら、肩をトントンと 自然と優しい手つきで相手を気 はこちらが何も言わなくても、 ッサージになると、子どもたち れあい遊びで「マッサージ屋さ きた瞬間でした。 わろうとする気持ちが伝わって ばあさまにも優しい気持ちで関 ん」をした時のことです。肩のマ とても印象的だったのが、ふ



えていくことの素晴らしさを実 感しました。 れてきた歌を、子どもたちに伝 ものだと感じました。歌い継が 手遊びは、人と人の心をつなぐ 歌い継がれてきたわらべうたや どの年齢においても、昔から

は、しおさい荘の方々も子ども たちと交流し、ふれあえたこと きたように感じます。帰る頃に 言い表せない、「心の交流」がで が、子どもたちにとって言葉では 約30分という短い時間でした

> が嬉しく、涙を流して喜んでく ださる方もいらっしゃいました。

る機会を大切にしていきたいと とをきつかけに、今後も地域に ある幅広い年代層の方々と関わ 今回訪問させていただいたこ

小学校5年生との交流

のことを、喜ばせてあげたいと が楽しめるか、ということを聞 のようなことをすると嬉しいの の子どもたちが数名幼稚園に きに来てくれました。年中さん か、何をして遊ぶのが好きかなど 来て、年中組の子どもたちがど 伝わってきました。 いう気持ちが膨らんでいるのが ^{*}どうしたら4歳の子どもたち 交流するにあたって、5年生

くれたようです。 いろいろな話し合いをしていて 5年生は、当日を迎えるまで

の」「お姉ちゃんいるんだ。会え 案内してくれました。 た。教室までは、5年生がピロテ ちは「わたしのお兄ちゃんいる に会う当日。年中組の子どもた ィーまで迎えにきて、各クラスへ し緊張している子どももいまし るかな」と楽しみにする子や、少 いよいよ子どもたちが5年生

に、練習していた歌を聴かせて まず始めに小学校音楽会を前

お弁当を食べる前に、手を洗むただきました。



子どもたちが理解でき、楽しめ間です。ゲームの内容は、4歳のお弁当が終わると、ゲームの時

ざました。 錯誤しながら考えたのが伝わってもらいたいと、いろいろ試行 でもらいたいと、いろいろ試行

話していました。 楽しいゲームの時間はあっと 、子生生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさよないう間に過ぎ、5年生とさんないが一人の時間はあっと



と、心良く受け入れてくれました。子どもの思いを伝えたいのた。子どもの思いを伝えたいのにお手紙書いてきたの」と家でにお手紙書いてきたの」と家で翌日、一人の女の子が「昨日す翌日、一人の女の子が「昨日す

お姉さんに手紙を渡しました。 た。この手紙のことを他の子ど たい」「折り紙で折った物を渡したい」「折り紙で折った物を渡したい」「折り紙で折った物とすると、なんと5年生が幼稚とすると、なんと5年生が幼稚とすると、なんと5年生が幼稚とすると、なんと5年生が幼稚に行きたい」「折り紙で近めていると

優しく教えてくれました。掃除 モップが大きいので扱いが難し 園でもモップがけの経験はなく、 がら逃げていました。 ぶつからないように気を付けな ながら、年中組の子どもたちに くれました。5年生は手加減し いつ子どもたちの声に、5年生が 兄さんお姉さんと「遊びたい」と も楽しいけれど、でもやっぱりお と歩調を合わせながら、丁寧に ちりとりでとるんだよ」と目線 持つんだよ」「ゴミが集まったら、 そうです。5年生が「こうやって やらせてもらうことになりまし てみる?」と声をかけてもらい、 とある」と「人の子が言うと「やっ た。「あ、それ、幼稚園でも見たこ で、ホールでモップかけの準備を した。ちょうど掃除をする時間 年生が校舎を案内してくれま た。もちろん子どもたちは、幼稚 している5年生の姿がありまし 鬼ごっこをしようよ」と誘って また一緒に小学校へ行くと、5



思いました。 最後はホールの端から端までしたが、前日よりもまた|段となったが、前日よりもまた|段となったが、前日よりもまた|段とでしたが、前日よりもまた|段とでしたが、前日よりもできた嬉しさで満面の笑みがこばれる子どもたち。 したが、前日よりもまたの はいました。

していきたいと思います。
かと友だちになったよ。明日もんと友だちになったよ。明日もまた会えるかな?」と笑顔で話また会えるかな?」と笑顔で話また会えるかな?」と笑顔で話また会えるかな?」と笑顔で話また会えるかな?」というといいます。

けてくれました。すみれ組の子いると、5年生の方から声を掛やグラウンドに出て一緒に探していかと、子どもたちとピロティーのかと、子どもたちとピロティーをの翌日も、5年生に会えな



っかり心を開いていました。こをしたり、抱きついたりと、すどもたちは5年生と追いかけつ

この短期間だけで、あっというこの短期間だけで、あっというとと思います。

と思います。いくよう、取り組んで行きたい力」・「社会性」などが育まれて力」・「つながるる中で「豊かな心」・「つながるる中で「豊かな心」・「つながるこれからも、様々な人と関わ



「小学校制作展を案内してくれました

保護者による学校評価

メールシステムを活用して

小学校総務主任 北村和美

学校評価アンケート

機能を活用することにしまし にメールシステムのアンケート 二〇一七年度末には、 時期に保護者の皆さんから学 校評価をいただいています。 学園小学校では、 その集計 年度末の

Q6 学校生活の様子が保護者に

伝わりやすい工夫をしている

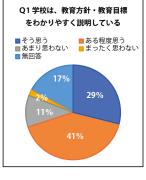
■ そう思う■ あまり思わない■ 無回答

17%

■ある程度思う■まったく思わない

24%

度はじめの全体PTA懇談会で お返しすることができました。



善点や課題が浮かび上がりまし 学習の取り組みや学校生活に関 んの回答から、学校としての改 目となりますが、 わる内容など、ごく大まかな項 いった基本的な方向性、児童の 学校の教育方針や教育目標と 保護者の皆さ

結果については、二〇一八年



Qたいいく表現まつり

会場レイアウト

■だいたいよい

■よくない

■大変よい

■あまりよくない

課題が多いことが見えてきまし いるかという点では、 をわかりやすくご家庭に伝えて 価をいただいています。 れてきたことに対して、 皆さんの協力も得ながら力を入 教育の取り組みなど、保護者の たとえば、児童の安全や防災 学校での学習や生活の様子 まだまだ 高い評 一方

Q音楽会全体の構成

■あまりよくない ■よくない

■だいたいよい

■大変よい

学校行事アンケート

トで寄せていただきました。 さんからの率直な声をアンケー 全校行事の機会に、保護者の皆 まつり」や「音楽会」といった 価に加え、秋の「たいいく表現 際も紙を回収する手間がかから できると好評ですし、集計する てもスマホなどで手軽に回答が した。そこで、年度末の学校評 メールシステムによるアンケ 利点が多いことがわかりま 保護者の皆さんにとっ

小学校の諸課題を かな要望が

保護者と共有するために



チ・カフェ 湘南食育ラ クールラン や毎月のス 日のお弁当 している毎 が 提 供

状がわかりました。また、頻繁 ど利用しない」と答えた方がま 中では「ラボのお弁当をほとん との声が多いものの、 ューのランチを楽しんでいる、 子どもたちはみんなで同じメニ Web上の注文やチャージの方 だまだたくさんいらっしゃる現 もアンケートを実施しました。 利用されている方からは、 チについて 保護者の

善点として今後の運営に活かす わっていない事や、 運営する側の事情が皆さんに伝 ことが求められます。 夫など、応援する立場からの細 えにくさや会場レイアウトの工 ていることが確認できた反面、 保護者の皆さんにご覧いただけ 子どもたちの一生懸命な姿が 「見える化」し、 放送の聞こ 改

法など、

具体的な要望も寄せら

れました。

結果を受けて、

がされているとの報告を受けて ラボでも早速改善に向けて検討

います。



ても、 ました。 保護者の登校見守り当番につい テラシー 析するために、保護者の皆さん 童のデジタル機器への影響を分 にアンケートにご協力いただき ご意見をいただいていま 昨年度から実施している 生活指導の分野でも児 の記事をご覧くださ (詳細はメディアリ

学校の課題について、共有を図 とともに子どもたちを育てる小 気軽にアクセスできるツールと っていきたいと考えています。 してのメールシステムを活用し ーションを基本としながらも、 直接の対話によるコミュニケ 今後も保護者の皆さん



■ is://school-pass.jp ①

свезянья паняеся па

<食物に> 向守り出着についてのご意見・ ご確保があればご知入ください。(1902)

メディアリテラシー

小学校生活指導主任

国 涼子

こで、児童・保護者へ実態調査を のか、考える必要もあります。そ 行い、講演会を行うことにしまし 導入しはじめ、子どもたちにどの 学習を変える一因となっておりま ル機器については子どもの生活や 環境は大きく変化し、特にデジタ ようなリテラシーをつけるべきな す。また、教育活動でもICTを 近年、子どもたちを取り巻く

は、スマートフォン(以下スマホ)、タ ちに、九月に全校の保護者にアン した。ここで述べるデジタル機器と ケート調査(実態・意識)を行いま ブレット、PC、ゲーム機器としま 七月に三年生以上の子どもた

子どもたちの実態調査から

いる機器は、ゲーム機器(242 ことがわかりました。普段使って 児童がデジタル機器に触れている 使って何をしているか、では、ゲー 児童も多くいました。それらを 複数の機器を使っている児童も多 く、自分専用の機器を持っている 人)、タブレット(224人)、スマホ (196人)、PC(123人)で、 アンケートにより、ほぼ全員の

り、SNSの利用者は128人 ム(300人)、YouTube(256 人)、調べもの(199人)の順とな

児童はトラブルなく楽しんでいる ゃあ、今日七時に集合ね」と約束 た。また、半数以上がオンラインゲ り、その多くは時間を制限すると どの学年にも三時間以上使用し で、学年があがるほど、時間が増 そのうちLINEの利用者は96 をしてオンライン上に集まり、ゲ た。その相手の多くは友達で、「じ を守るためのルールはわずかでし いうものでした。一方、インターネッ ルールあり)がルールを設けてお ようです。家庭では、多く(71%が を見ると、あてはまる児童がいる 害)」という病気がWHO(世界保 均時間は六時間でした。一年前に えていく傾向があります。また は、三十分以内(33%)、三十一分~ ームをしているようです。多くの ト上の危険を回避し、犯罪から身 健機関)に認定されました。実態 ている児童が十%以上で、その平 人でした。一日の使用時間について 一方、時間になっても現れず待ち ームをしていることもわかりまし 「Gaming disorder(ゲーム症・障 時間(25%)、1~二時間(19%)

> ことでハードルが下がれば、SNS です。知らない人とゲームをする 考えられます。 にも抵抗がなくなっていくことも など知らない人と連絡をとること は、子どもにとっては非常に危険 でもゲームができるという便利さ は七十人でした。いつでもだれと た人とゲームをしたことがあるの です。インターネット上で知り合っ 関係にヒビが入ることもあるよう 認されないといったことから友達 続けていた、友達申請したのに承

に、講演会を企画しました。 以上の結果とアンケートをもと

のではなく、正しく使いこなせる はどういうものか、高学年にはイ デュケーション&アウトリーチ ス ようにするにはどうすればよいか お話していただきました。インタ ために気を付けることを中心に ンターネットを安心・安全に使う では、中学年にはインターネットと 保護者向けに講演会を開催しま ペシャリスト)をお招きし、児童 ーネットを「悪」として、遠ざける した。子ども向け(十1月十九日) 田中清隆氏(Googleユーザーエ

は、子どもをとりまく状況やイ ンターネットの可能性、フィルタリ 保護者向け(十二月十五日)で

ことも増えてきます。また、家族

いるのか、一緒にやることでわかる に興味をもっているのか、何をして ゲームやアプリ、サービスを知って そのためには、子どもが使っている 庭でのルールを作り、インターネッ ルに巻き込まれないためには、家 罪に巻き込まれる)、ネットいじめ る)、SNSなどによる知らない人 ってしまう)、投稿による意図 ります。日常生活への支障(友達 ています。しかし、問題も多くあ が見つかったりする可能性を秘め 使い方をしていけば、意見や表現 の人とつながっているので、正しい ります。インターネットは世界中 索やニュース、コミュニケーションを主 用内容では、子どもたちはゲーム スマホ利用者は四割ほどです。利 ンターネット使用率は4%を超え いくことが大事です。子どもが何 作り上げていく必要があります。 トを正しく使う方法を子どもと などがあります。こういったトラブ との出会い(個人情報の漏洩、犯 た動画や写真が炎上・問題化す ぬ拡散 (気軽な気持ちで投稿 とのやりとりやゲームを長時間行 を世界に発信したり、新しい仕事 に使っており、利用の仕方が異な や動画視聴を、保護者は情報検 していただきました。小学生のイ ングなどのツールの紹介のお話・ (平成29年度内閣府調査より)、

> うにそれぞれのネットサービス(ゲ のアカウントは十三歳~というよ リングをかけてください。Google があります。そして、必ずフィルタ ドやアカウントは使いまわさない、 こまで公開するか)という概念を ウントを実名で作らせない、ログイ る、時間制限アプリを使う、アカ うようにしましょう。具体的なル にし、そのルールを友達に伝え合 なりません。 す。それをふまえ、保護者がきち する利用者年齢を記載していま 教える、保護者と子どもが話し ンは保護者が行う、共有範囲(ど で決めたルールは全員が守るよう んと子どもを護っていかなければ ームも含む) は利用規約上に想定 合える環境を作っていく、パスワー ールとして、充電する場所を決め

ラシーを子どもにきちんとつけさ せていくことがとても大事です。 学校でも家庭でもメディアリテ



中高情報科 小林勇輔

することになりました。 際STEM学習協会と共に、チェ 業に採択された|般社団法人国 経済産業省「未来の教室」実証事 ンジ・メイカー育成授業の実施を 高等学校情報科では9月より、

どの能力を育むプログラムを構 りを起点とした「課題設定」「課 ッターなど)を導入し、ものづく 築、実証しています。 題解決」「情報伝達」「共創力」な

機器(3Dプリンター、レザーカ

メディアルームにデジタル工作

とで、あふれるほどのクリエイテ 的に学ぶための環境をつくるこ 生徒達が夢中になり、より自主 ィビティ(創造力)を育みたいと 実施できることを非常に嬉しく 施していましたので、本事業を がら学ぶ」を意識した授業を実 変える」ことを目的に「つくりな 科としても生徒達の「学び方を する試みが始まっています。情報 の利活用により教育活動を強化 iPadが貸与され、テクノロジー 本年度より高校1年生には 感じています。未来の教室では、

そして、このクリエイティビティ こそ「未来をつくる」力である

> す् と信じ授業をデザインしていま

教室もつくる

一つくり」ました。 置について議論をしながら教室も 授業レシピやFABスペース設 準備期間の夏休みにプロジェク トチームがメディア室に集結し

じ時間に実施するような学習環 と並べられ、皆が同じ作業を同 むことなど出来ないと感じてい 従来のデスクトップPCが整然 境では創造性(Creativity)を育

した。 間中はデスクトップPCを全て 取り外し、高速Wi-Fi環境とノー そのため、今回のプロジェクト期 が可能である学習環境を整えま ネットにアクセスしながら作業 トPCを整備、どこでもインター



すくしています。

らアイデアをカタチにするべく 生徒達は時にふざけ、遊びなが が出来るようになりました。 で周囲の表情や仕草を感じる事 教室環境を変更したことでこと 『アイデアスケッチ』に取り組み

す。その1つひとつを見ていくと 1つとして同じものではないア 溢れ出ていました。わたしには 多様なアイデアが生徒達からは 用性の高いアイテム』まで、多種 から『すぐにでも使えそうな実 イデアが180個近く集まりま 実現不可能な魔法のアイテム』

> ムがたくさんありました 『これは欲しい』と思うアイテ

アイデアスケッチ

すという授業を実施しました。 アイデアを出すために、面白法 わせることでアイデアを出しや を2枚引き、出た絵柄を組み合 カード』を活用しました。カード いうお題についてアイデアを出 人力ヤックがつくった『ブレスト 『筆箱をアップグレードする』と

アイデアを『思いつく』のは特別 事だと考えています。 さらに『思いつく』には環境も大 つく体質』になっていくのです。 ことで自然と脳が、身体が『思い ています。ブレストを繰り返す 返した(筋トレした)かだと感じ な才能ではなく、どれだけ繰り

はじめての3ロプリンタ

錯誤しながらの作業をなりま それぞれが自分のペースで試行 るべく、Tinkercadを用いたモ ドするアイテム』をカタチにす とし込んだ『筆箱をアップグレー デリングの実施となりました。 いよいよアイデアスケッチに落

で面白いです。何人かの生徒は としたデザインの生徒など様々 細部までこだわり尽くす生徒も アイテムを完成させ、はじめて いれば、アイデア勝負でサッパリ ントまで進みました。 「st!」データを提出し3Dプリ

ります。 のアイテムが目の前に現れる様 ングする/印刷をする」という 伝えたい、身につけて欲しいスキ 子は我々を惹きつけるものがあ 体験から生まれた世界に一つだけ 生徒自ら「アイデアを出す/ア イデアスケッチをする/モデリ

いと願っています。 ことをこの体験から学んで欲し であり「つくる側の視点」である ル工作機器の使い方」ではなく ルは「3Dモデリング」や「デジタ 「アイデアをカタチにする力」

> ものがある」ということなのでは そのひとつの答えは「つくりたい ないかと生徒達を見ていて感じ 「主体性とは何か」

お化け屋敷PJ

ことは可能でしょうか? の製作を3Dプリンタで行なう ターを使ってものを作るのはど 等をダンボール等で作るとどう 僕たちのクラスは学園祭でお化 ですが学園祭のクラスの小道具 い、という意見があり30プリン しまって満足いったものが作れな しても雑になったり形がずれて け屋敷をやるのですが、小道具 うだろう?という意見が出たの

け屋敷(仏壇)プロジェクト』は始 まりました。 生徒のこんなGmailから『お化

FABSPACEを訪れた実行委員 時間でした。 を始める生徒達。3Dプリンタで を操り、あっという間に数々の小 放課後に「設計書持参」で 印刷する様子を眺める生徒達の 物をモデリングし、すぐに印刷 達は、授業で扱ったTinkercad 「ワクワクした姿」が印象的な

抜群のアイデアがありました。 完成した仏壇に使う小物の中に このお皿は何に使うの?」

「!!!!」「あの…襖(ふすま)の把手です」「?」

衝撃でした。

「ないからつくる」「あるけどつくる」だけでも凄いと感動していたのですが、「部分だけつくる」たのですが、「部分だけつくる」とは心底驚きました。とは心底驚きました。

「つくることで楽しませる」

感させてくれました。界が変わり始めていることを体た把手で襖を開ける「体験」は世を受賞しました。生徒達の作っ学園祭で彼らは「審査員特別賞」



はじめてのレーザーカッター

戦しました。 すぎない」スタイルでの授業に挑いづらい部分も多いため「教えす。初心者にとっては難しく、扱す。初心者にとっては難しく、扱すの回のデータ作成に用いたソフ

Illustratorを初めて触る生徒達Illustratorを初めて触る生徒に挑戦」と感じていたので「教えない」とと感じていたので「教えない」とに対して実施することは「挑戦」に対して実施することは「挑戦」

で作業をしました。 iPadで閲覧しながら、Surface

利活用した授業スタイルの可能を実践的に学びながら…映像をあり、一夕」「ラスターデータ」の違い面像のトレースでは「ベクターデながら…

性を感じることができる時間と

なりました。

います。



はじめてのMESH

現ESHはSONYの新規事業創 別ESHはSONYの新規事業創 別です。さまざまな機能を持っ たブロック形状の無線でつなが たブロック形状の無線でつなが たブロック形状の無線でつなが がつミングや電子工作なしに実 がつミングや電子工作なしに実

います。 し変わった時間であったと感じて達の「モノやコトの見え方」が少繋がるIoTの時代を生きる生徒繋がるIoTの時代を生きる生徒



つくりながら学ぶ

アを形にする体験を通じて、生ー、MESHなどを用いたアイデ3Dプリンタ、レーザーカッタ

また、モノをつくるだけでなく、の言葉で表現しています。かを制作日誌を書くことで自分く

伝える」ことにも重きをおいてい

「価値をつくる」 「価値を社会に

価値をつくり、伝えるという「メ価値をつくり、伝えるという「メー」は文章力、画家での過程を客観的に見つめ直し、生徒自身が制作中見つめ直し、生徒自身が制作中見つめ直し、生徒自身が制作中には気がつかなかった事や、つくことで初めて気がつくり、伝えるという「メージ・新たな社会の関わり方や見ど、新たな社会の関わり方や見でいた価値に気がつくことを願っています。

未来の教室…その後

「キース先生、コレット先生をお迎えして

中高英語科主任

業」の2本立てで授業を行って 導入し、「日本人教員とネイテ ム・ティーチング(T.T)を が、2012年度より、ティー に分けて授業が進められていま ち、1単位が英会話の時間とな います。 イティブの教員によるソロの授 ィブのペアによる授業」と「ネ が単独で授業を進めていました す。かつてはネイティブの講師 っており、1つのクラスを2つ で週6単位ある英語の授業のう 中高英語科では、中学各学年

ウィルシー(Keith Willse)先 を担当していただいているの 教育・グローバル教育にご尽力 講師という立場で、本校の英語 師でしたが、昨年4月より特別 ています。これまでは非常勤講 は2015年4月より勤務され 2014年4月、コレット先生 のお二人です。キース先生は オガワ(Colette Ogawa)先生 生、イギリス出身のコレット・ は、アメリカ出身のキース・ いただいています。具体的な業 現在、中高の英会話の授業

> 学で英語を学ぶことや海外留学 も過言ではありません。 業が下地となっていると言って 代の、お二人による英会話の授 深められるのは、確実に中学時 代の若者たちと隔てなく交流が 留学生など他地域他文化の同年 はないように感じています。特 る恥ずかしさはあっても抵抗感 でコミュニケーションをとって います。お二人とも生徒の目線 の英会話の時間」が設けられて よりお二人による「朝や放課後 様になりました。また、今年度 おける体験授業のプログラムの なく、英検の二次試験対策、大 に高校生たちがここ数年、交換 たちも、英語を話すことに対す いらっしゃるので、中高の生徒 企画立案など、今年度一気に多 には中高における各種説明会に に興味がある生徒への助言、更

だこうと、いくつか質問を用意 者の皆様方に幅広く知っていた 生の思いなどを幼少中高の保護 さて、キース・コレット両先 それに答えていただきまし

務内容は、英会話の授業だけで きます

てお聞かせください 湘南学園中高生の印象につい

今後やりたいと思っているこ 湘南学園中高において先生が

Q 3 湘南学園生へのメッセージ



中高の生徒たちはとてもフレ は嬉しいですね。 ると湘南学園での学校生活を ンドリーです。彼らを見てい ことが大好きな彼らを見るの す。英語の歌や異文化を学ぶ 本当に楽しんでいると思いま

Q 2

た。以下にご紹介させていただ

Q 3 すね。 更にレベルアップをしていく 将来外国で仕事をする時や、 英語はいつでも習得できます の変化にも対応し続けたいで ようにすることを何より大切 園中高の英会話教育を前向き のはもちろんですが、湘南学 きな態度で取り組めば、もし かつ楽しいものであり続ける にしたいです。 教育システム 、今、英語に対して前向

土台となりますよー 日本で外国文化に触れる時の



くれます。 しいことに進んで取り組んで ね!いつでも英会話の授業に 中高の生徒たちはフレンドリ ー、そして元気がいいです 一生懸命取り組み、そして新

む上で、彼らが自信を持って 生徒たちが英語学習に取り組 も続けたいです。私達を取り 頑張れるお手伝いをこれから

> ちますからね。 ても便利なツールとして役立 ルになる中、英語スキルはと 巻く世界はますますグローバ

Q 2

自分自身、英会話教師として

2言語として学習していまし いつも授業に一生懸命取り組 皆さんならきっと出来ます! することで学べるからです。 敗を恐れずに。なぜなら失敗 とを忘れないでください。失 出してくれるものだというこ んにとって多くの可能性を見 ると思いますが、英語は皆さ た。(第2言語としての)英 身、フランス語や日本語を第 んでくれてありがとう。私自 語の勉強は時に大変な時もあ

年度以降、中高英語科は更に生 深い年となったと言えます。次 様のご指導ご鞭撻をお願いする と思います。今後も保護者の皆 徒のやる気を引き出せるよう、 英語科にとって例年以上に意義 授業改善に活かせることが出来 助言を頂き、指導内容の吟味や ています。2018年度は中高 人から様々な示唆に富む有益な 一丸となって前進していきたい 生徒同様、英語科教員もお一

「人として大切なこと」 PTA会長 近藤えり子

されているユニークな学園でもあ そして教職員と父母の手で運営 ります。 恵を結集した温かみのある教育、 いう建学の精神を守り、教員の知 に役立つ人間を大きく育てると 以来、子どもたちの個性を尊重 より、気品高く明朗な将来社会 した自主性を育む自由な教育に 湘南学園は、昭和8年の創立

来る力が身についていることでしょ ついていて、一人ひとりが自己実現 し、自分の花を咲かせることが出 んは、判断力や表現力が十分身に そのような環境で学んだ皆さ

ども達の多くは、学業成績は上 時間が夜10時以降の小学生も多 いう実態であったようです。就寝 る時間は世界中で最も長く、体 とのことです。スマホやテレビを見 答えた者の割合は最下位である があるか」という問いに「ある」と 位であるにもかかわらず、「自信 先日発表された国際的な生活ア 食・孤食・調理済み食品が中心の を動かす時間は平均を下回ると ンケートの中で、現在の日本の子 く、朝食を食べない子どもや、外

> 子どもも増えてきているようで が悪すぎると感じました。 分で考え、自分で判断できる力を す。このような子どもたちに、自 身に付けるには、あまりにも条件

の余裕が子どもの中での好奇心 せて頂きました。 もの心を育てるのだと改めて学ば かい言葉が豊かで安定した子ど まず、子どもと本音で関わる時間 ーションを取れなければ子どもの かり持ち、豊富な話題でコミュニケ けさせる。子どもとの接点をしつ 本的で最も重要な事柄を身につ ね」と立ち止まれる親の意識と心 道端に咲く花を見つけて「綺麗だ を共有することが大切であり、温 心は成長しない。忙しさに逃げ込 しさといった生活するうえでの基 を育み、善悪の判断、思いやり、優

の道徳について子どもに示し、考 とるべき態度、すなわち広い意味 そして、私たち大人が、社会の るのではないでしょうか。 生きるための原点を作ることにな えさせることが、子どもが社会に 人々や自然環境に対し人として 「人として大切なこと」が重要な

いうことは、どこでも聞かれる言 「いのちを大切にしましょう」と キーワードであると痛感いたしま

> 世の中を生きるということなので れは、実際には難しいというのが、 られてきたことでしょう。でも、こ 葉です。小さい時からそう教え

でもでも長生きすることなのでし にすることなのでしょうか。少し 「どうすることが」いのちを大切

を受け入れることのできる正直な 生きていける場を見つけ、多様性 も、生き生きと輝いて自分らしく 通りにならない人生の中にあって 現実から逃げるのではなく、思い をし、悩んでいるのだと思います。 されているから、私達は苦しい思い が多く、その「ものさし」に振り回 し」の方を大切にしてしまうこと というよりも、世の中の「ものさ んな中で「人として大切なこと_ し」で動いているものですから、そ 値があるか、ないかという「ものさ りますが、世の中がどうしても価 す。これは大変悲しいことではあ いうように、私達の「ものさし」で 人の価値をはかることがありま ものさし」をもてるようにした 価値のある」と「価値がない」と

てくださる日まで、保護者と教 たき、そしていつか母校に戻って来 であったことに誇りを持って羽ば 卒業生のみなさんが、湘南学園生

とり教育の場としての湘南学園 化・教育力の総合的な学習に寄与 員の共同経営が、湘南学園の文 をつくりあげたいと思っておりま し、人として大切なこと、心のゆ



「将来像が描きにくい 同窓会会長 筧 変化の大きな時代

創立90周年、創立100周年に向 と思います。 けてのあくまでも通過点である 昨年の湘南学園創立85周年は

クラップビルドだと、時代変化に ら変化をつかめ、変化を生かせ、ス きな変化のある時代です。 中は今まで経験したことのない大 様々な社会変化がある中で、世の 社会のグローバル化、少子化etcの 私も会社勤めの後半は、上司か 昨今、人工知能(AI)の時代

験値では判断出来ない位の、もの ます。教育も「記憶中心の学習 の教育環境も大きく変化してい 化し、一方、実社会でも今までの経 活用型へと教育現場も大きく変 から「見方や考え方を磨く」知識 様々な社会変化と共に、子供達

凄く大きな変化が起こっている時

され、大変盛り上がった実績があ コミュニケーションに発展させてい の人間関係を構築し実社会での う云うことが必要になって来た時 祭で野球部がそのパターンを実践 る、先輩、後輩の交流会により縦 後輩達が学園カフェテリアに集ま 代に思えます。又、部活の先輩、 を学園生に伝えていく、まさにそ 実社会での経験値、世の中の変化 ぼっくりフォーラム等で卒業生の が力を合わせてキャリア教育、松 力をお借りして、学園と同窓会 社会で活躍されている大先輩のお B、又、今日でも多方面に渡り実 リーを歩んでこられた同窓会〇 くことが大切であり、前回の学園 十二分に実社会のサクセスストー そこで実社会で活躍している30 40代の中堅、50~60代の先輩、

成がポイントになっています。 行動できる、どこの世界に出ても め直し、変化に対応し自ら考え 適応能力を発揮できる人材の育 『湘南学園は建学の精神』を深

とが思い出されます。

対応せよと、厳しく指導されたこ

頑張って進んでいきましょう。 学園が私学の一貫校として存続 しい時代に入っていると思い、皆で し、勝ち残っていくには、本当に厳 伝統の継承と変化に対応して、

中高教諭 坂元久美子先生が御永眠されました

学園長・山田明彦

た。 に、学園カフェテリアにおいてお別れの会を実施いたしまし 久美子先生が12月18日に御永眠されました。今週の3月5日 1月末の全学連絡でお知らせしたように、 中高教諭の坂元

懸命に闘病生活を続けられました。生徒のことや学校のこと に坂元先生を偲んで、 かなわぬこととなりました。享年46歳でおられました。ここ をとても心配され、今後への願いを語っておられましたが、 先生は、6月より体調を崩して入院され、復帰をめざして 改めて湘南学園におけるご功績を紹介

講師を歴任され、ご主人のご転勤によりこちらへ転居されま されました。家政学部をご卒業後、 した。湘南学園に専任教諭としてご着任後、 坂元先生は、2010年度から中高家庭科教諭として勤務 まず宮城県の高等学校の それまでの教職

経験を生かされて熱心に取り組まれました。

理実習など食育に取り組まれ、 2013年に開業されたカフェテリアとの連携を重視して調 くの人達の相談相手として親身に助言をされていました。 ど全学の連携に貢献されたことも心に刻んでおります。 包容力のあるお人柄が慕われ、生徒や保護者や同僚など多 改めて坂元先生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。 幼稚園訪問実習の継続発展な

《学校法人から》

【理事会報告】

これまでに、次の理事会を開催 いたしましたのでご報告いたし

第7回臨時理事会 第6回臨時理事会 第10回定例理事会 第10回臨時理事会 第9回定例理事会 第9回臨時理事会 第8回定例理事会 第8回臨時理事会 第7回定例理事会 第6回定例理事会 1 月 19 12 月 22 日 9 月 22 日 1 月 26 日 12 月 7 日 11 月 24 日 11月9日 10 月 27 日 10 月 12 日 9月7日

〔主要な議題・報告等〕

- 85周年の記念広報について
- 創立85周年記念のつどいにつ
- 清掃等建物管理業務委託の契 定に伴う賃金の支払いについ 平成30年度地域別最低賃金改 約延長について
- 固定資産(小学校メディアセ ンターの図書資料)の除却に
- 事について 中高グラウンドネット追加工

- 創立85周年記念事業の募金に
- 理事会顧問の契約更新につい

2019 (平成31) 年度予算

中高パンフレット等制作に関 2019年度~2021年度 編成方針(案)について

第7回評議員会

1 月 26 日

- 加嵩上げ工事業者の選定につ 中高グラウンド防球ネット追 わる依頼業者選定について
- 幼稚園舎の遮音改善案につい
- 中高天井のルーバーについて
- 幼稚園舎の構造体強度調査の 中高空調設備の更新について
- 退職管理職の再任用について

委託について

- ネットフェンスの改修工事に
- 次年度の教育振興基金の対象
- いて 清掃建物管理業者の選定につ
- の継続について フィシャルクラブパートナー 2019湘南ベルマーレ・オ
- これまでの経緯について 2018 (平成30) 年度第二 カフェテリアと食育をめぐる 次補正予算の編成について

突発修繕積立金の新設につい

【評議員会報告】

これまでに開催された評議員会 第6回評議員会 についてご報告いたします。 9 月 22 日

〔主要な諮問事項等〕

- 固定資産(小学校メディアセ ンターの図書資料)の除却に
- 中高ESD新入試について 創立85周年記念事業について
- ・カフェテリアと食育をめぐる 2018 (平成30) 年度第1 次補正予算書(案)について
- 理事会報告について 経緯と今後について
- 評議員間の意見交換等の掲示

